

## 福祉サービス第三者評価結果

### ① 評価機関

|         |                |
|---------|----------------|
| 評価機関名   | 福祉サービス評価センターさが |
| 訪問調査実施日 | 平成26年12月16日(火) |

### ② 事業者情報

|      |                             |     |              |
|------|-----------------------------|-----|--------------|
| 名称   | 芳華保育園                       | 種別  | 保育所          |
| 所在地  | 〒849-2304 武雄市山内町大字大野7099番地6 |     |              |
| TEL  | 0954-45-2226                | FAX | 0954-45-2386 |
| 施設長名 | 園長 馬渡節子                     | 定員  | 90名          |
| 設置者  | 理事長 加藤元章                    |     |              |

### ③ 総評

#### 《特に評価の高い点》

芳華保育園は、今回2回目の第三者評価受審であり、質の高い保育に取り組み、その一環として、従前の一斉保育から担当制を導入し、個別支援を充実させている。

職員も、質の向上自己研鑽を積み、実践していく姿勢がうかがえる。

広報誌やパンフレットには、保育の様子や地域などでの交流会を写真など使い紹介するとともに、経営理念、運営理念、保育理念と併せて、特色保育の様子をわかりやすく記載されている。ホームページを作成するとともに、ブログで情報発信を行っている。

法人は、高齢者施設、障害者グループホーム、子育て支援センターなどの事業を実施し、全国でも類の少ない複合型施設を運営している。

複合型施設の特徴を活かし、法人内での研究発表会を行うほか、子ども絵本図書館を開設し、地域貢献にも積極的に取り組んでいる。

職員一人ひとりについて、個別の技術、知識、専門資格等へ教育・研修が行われている。

年齢別保育研修会へ参加や外部講師を招き担当制保育の勉強会等実施している。

衛生感染症予防委員会を開催し、看護師参加の基で毎月開催されている。

園内を開放して、保護者と地域との交流は盛大に開催されている。

毎週木曜日は子育て支援センター「ひだまりキッズランド」へ、保育士1名配置し対応している。学童のサマースクール活動も行われている。

0歳～5歳児は担当制保育を導入し、一対一の関わりを持つ特色ある保育を目指している。

年間計画・月案を活用しながら、子どもの主体性を尊重し、子どもが自発的に活動に参加できるように、空間、時間、道具を準備している。また、使いやすい様に子どもの目の高さに玩具を設置し、子ども同士の遊びを、保育士が園児の動向を見守りながら、子どもの心に沿った保育が行われている。手伝いや片づけ等も保育士と園児で一緒に行っている。

各室内には、冷暖房、床暖房等完備され、冬場はヒートポンプの利用が出来る設備である。

全トイレの手洗い用の水道口は自動で、感染症予防の為にペーパータオルを使用。

午睡は一人ひとりの簡易ベッドが使用され、落ち着いて安心できる環境を整えている。

身近にヤギ・うさぎ・クジャク・金魚・グッピーなどを飼い、自由にえさやりが出来る環境である。

毎週木曜日に絵本の貸し出しや、各年齢別に絵本の読み語りを随時している。

延長保育については、延長保育料はなく、子どもの人数に対しての職員の人数は確保。

食事について、アレルギー疾患、慢性疾患等を持つ子どもに対しては、アレルギー検査報告書や診断書を提出して貰い、担当保育士・栄養士・看護師等と共に対応されている。

4・5歳児はバイキング形式をとり、3歳児は量を尋ねながら意思を尊重し加減するなどの工夫を行っている。保育士が食事にゆったりと関わられる様に、0歳児は、子ども一人に保育士1名、1歳児3人対1名、2歳児6人対1、3・4歳は2チームに分かれて対応されている。

#### 《改善を求められる点》

中・長期計画の策定が出来ていないため、今後は課題・問題点の解決に向けた取り組みや、必要に応じて見直しが見られる。管理者として、それぞれの役割と責務が明確化されることが望まれる。職員が業務上の悩みやストレスを気軽に相談できるカウンセラーやストレスマネジメントに関した、スーパービジョンの体制の取り組みが必要と思われる。地元との合同での災害・避難訓練への実施が望まれる。子どもの身体や生活状況を正確に把握するためには、アセスメントが必要である。そのためには、担当者・保護者・主任・栄養士・看護師などの参加によるアセスメントに関する協議の中で、定期的に見直しの時期や課題等へ反映できるように検討して戴きたい。

子どもの自己主張、自発的活動は素晴らしい保育が行われているが、歌や楽器を取り入れた音楽環境が比較的少ないので、計画的な取り組みが望まれる。家庭での子どもの食事摂取状況が把握できるように確認が必要である。虐待に関して、保護者からの相談を受けたり、支援できる体制を組織的にできる体制づくりを期待したい。常に予防的に精神面・生活面を援助が出来る保育所内での体制を期待したい。

#### ④ 評価結果に対する事業者のコメント

平成20年10月24日最初の第三者評価を受審しました。

平成26年12月16日に二度目を受審しました。(平成24年4月27日改定分)

前回の改善を求められる点として、個人情報規程など各種規程の整備を指摘して頂き、園内研修や職員会議にて、周知徹底を図り共通理解に努めてまいりました。

今回二度目の受審をし、一回目を受審した職員も六年経過し、保育に対する更なる意識の向上を図ることができたと思いますし、初めての職員も自己評価を通して日々の保育を見直す良い学びの機会となりました。

今回の評価結果については、実践してきた事を高く評価して頂いたことは、本当に有難く全職員の自信となってさらに意欲につながっていくと思います。又、改善点については、全職員で保育指針を更に読み直し改善に取り組んで行きます。平成27年度より「子ども子育て支援と新制度」がスタートします。新しい時代を見据えて制度の基本的な要点を踏まえ、ひとり一人の子どもにとって最善の利益を提供し、子どもたちの生涯にわたる生きる力の基礎を育てていきたいと考えています。

正和福社会地域貢献事業として現在建設中の子ども絵本図書館が、4月よりオープン致します【絵本の力を、生きる力に】を理念に、赤ちゃんから高齢者まで利用して頂き地域社会に貢献してまいります。

#### ⑤ 項目別の評価結果

別添のとおり